市民サロン

このページに市民の皆さんが作るページです。短歌、俳句、川柳などの文芸作品やどんなことでも結構ですので皆さんのご意見をお気軽にお寄せください。
締め切りは毎月１０日です。
あて先は南国市企画課市民サロン係（〒783南国市大埇甲２３０１）です。

「愛車」

森沢良博（東崎）

海亀の孵化に一生懸命取り組むご主人の姿を温かく見守る妻、楠瀬久乃さん（浜改田）。久乃さんからいただいた投稿を先月号に引き続き、紹介します。

さて、カメさんですが、六月九日の卵は八月十三日に五十八匹がふ化し、八月十八日に浜改田保育園の子供たちが大はしゃぎで海に放流しました。七月四日の卵は八月二十八日、九十六匹ふ化し、家へ持って帰り、魚を入れる大きなクーラーの中で元気に泳いでいます。子ガメは直径五㌢くらいで甲らが黒色と茶褐色です。お腹にはまだへその尾（白っぽい透明な袋）を引きずって、ごそごそはっているカメもいるし、よくまあ疲れないものだと思うほど休みなく手足を動かして泳いでいます。ときどき、水面に顔を出

しては息をしているようで、見ているとほんとにかわいらしいものです。小さくきざんだ小魚を針金につるしてやると、小さな口でつっついて食べています。

波のない日に小学生に集まってもらい、子ガメを海に放流してもらいます。少しでも子供たちに自然の大切さを感じ取ってもらえれば幸いです。

北半球では、日本が主要な海ガメの産卵地になっているそうです。まだ未鶏者ですが、来年も海ガメに出会ったら卵を保護し、百匹ふ化させたいと思います。

（終）

南国歌壇

水清き細川なれど政党に
公費助成す濁りを常ず

久しぶりに父に逢いし涙雨
一口ずつ運ぶ食事のせわを

長老の今日おくられし自転車の
赤き車体にこもごも触れる

雨上がり川辺に一輪かきつばた
紫紺の蝶のきらめいており

清冽な物部川面に網を打つ
そのたまゆらを光る銀鱗

嬰児は母の腕に抱かれて
何を夢見る穂に笑む

半世紀を経わざりし友の俳笛は
校歌の唄えり幼な日を呼ぶ

篠原　山本　茂
西野田　北村優美子
岡豊町　葛目治子
立田　北村賀寿恵
大埇　島　光則
岡豊町　葛目愛子
外山　金田初美

南国俳壇

神無月貧乏神も旅支度
初冬が来たぞとつげるすきま風

十市　沢村鶴一
十市　大家寿恵子

南国俳壇

舎立ちし空に潤みて盆の月
さまざまの哀愁新た盆の月
里暮れて広がる秋が身を包む
水引の紅を引き合ふ蜘蛛の糸
アンタレス赤光放ち流灯会
鮮耀なく板一枚の精霊舟
次の世は野菊の君に生まれたし
はんど岩おんびき岩も秋深む
初代の墓辿りつくまで曼珠沙華
指先をふるればはじく風仙花

長岡　島田清子
長岡　二宮亀子
長岡　二宮弘代
物部　山川邦子
明見　木戸　節
前浜　中村祭生
吉市　長野福美
比江　永田ますき
比江　小松ふみ
立田　北村幸江

われらサークル仲間

先生も生徒も　友達感覚

今回は岡豊高校漫画・アニメ部を紹介します。

５１人いるうちの一部の部員

八月十二、十三日に高知ちばさんセンターで行われたまんが甲子園で、全国二百四十九校の頂点に立った岡豊高校漫画・アニメ部。普段は「場所と時間をかまえておいたらあとは、来て製作をする者、本を読む者、おしゃべりをする者もいたりで自由にやってますよ」と顧問の祖父江建樹先生が言うようにごく気軽な雰囲気の活動をしています。

現在五十一人の大所帯で、「すごくさわがしいけど、みんな仲がいいです」と部長の岡本さん。クラブ誌の発行、クラブ合宿や他校との合同合宿、いろいろなコンテストへの出品などの活動を、いつもは友達感覚の先生もいざというときはすごく頼りになり「祖父江先生でないとまんが甲子園で勝てなかったかも」と部員の信頼も厚いようです。

部員の中にはプロを目指している人もおり、未来の漫画家、イラストレーターが、この中から生まれるかもしれません。

◇　◇

このコーナーでは、同じ趣味を持った方たちの楽しい活動風景を紹介しています。

「私たちのサークルを取材してほしい」と思われる皆さん、ぜひご応募ください。

◪応募方法　サークルの代表者の氏名、住所、電話番号、活動場所、それに活動内容を簡単に明記

◪あて先　〒783 南国市大埇甲二三〇一　南国市企画課広報統計係

親子あるある 250

これはなんでしょう

答えについての思い出などもお待ちしています。

◪しめきり　11月10日

◪あて先　〒783　南国市大埇甲二三〇一　南国市企画課　親子クイズ係

◪賞品　正解者の中から抽選で5人に図書券を進呈

◎前回の親子クイズの答えは、体操服でした。

第258回当選者発表（敬称略）
（応募総数9通）

西岡美加（緑ケ丘）
西山幸一郎（大埇）
高木美佳（前浜）
高木節子（前浜）
坂本逸哉（上末松）

思い出がいっぱい

◆子どものころから、運動会は苦手でしたが、保育所の年長組の時にかけっこが一番になり、おじいさんがすごく喜んでくれたことがうれしい思い出です。

◆うちの孫は、もう六年生で小学校の体操服を着るのは最後、来年はもう中学の体操服になるのです。

◆体育の日に生れながら、足の遅かった私はかけっこが本当にイヤでたまりませんでした。今年は二歳の坊やの初めての運動会です。お父さんに似て元気よくダッシュしてくれればと、ひそかに願っています。

◆子どものころ、よく体操服が汚れるまで、体育の時間を一生懸命やっていたことをなつかしく思います。

◆私たちのユどものときの運動会は、白のユニホームと白いパンツでした。

◆高校の時、修学旅行で友人が寝間着のかわりに体操服を着て寝たのを思い出しました。私も体操着を持っていたらなあ、と思いました。